

公表

令和6年度事業所における評価結果

事業所 かやま保育園

公表日 令和7年 2月10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2 利用定員やこどもの状態に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・適切になるよう一日の利用人数を調整している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・療育後は毎日、掃除と整理整頓をしている。季節の変化や気温など、こどもたちが活動しやすいように調節している。 ・その日の利用人数やこどもの様子によって遊具の配置などを工夫している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7 保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎日のカンファレンスや月1回の会議に加え、必要に応じて1週間に1回会議を実施し話し合いの場を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6		・第三者評価は行っていないが、今後検討していく。
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・様々な研修会に参加し、保育士知識だけでなく専門知識を学んでいる。外部講師の先生に療育後のカンファレンスに参加していただき、専門的な知識やこどもたちへの具体的な支援方法について学ぶ機会にしている。		
適切 な 支 援 の 提 供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・支援プログラムの内容やねらいをHPで公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもに関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・毎月支援会議を実施している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・毎日カンファレンスを行い、職員間で情報共有、療育の改善点等を話し合っている。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月によってプログラムを変え、その中でこどもの様子を評価したり、各自の目標に向けて取り組んだりしている。 ・朝の会は一週間、全体の遊びは一月毎の見直しを行っている。その中でステップアップを図ったり、個々に合わせ活動内容を変えたりしている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・前日のカンファレンスと当日朝のミーティングの中で、その日の予定や療育の内容について確認を行っている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日活動の終わりにカンファレンスを行っている。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の支援目標に沿って日々の記録をしている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ばんだ組での姿と、就園先での姿が異なる場合があるため、関係機関との情報共有がより必要と思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園訪問や関係者会議などでの情報共有を来年度も行っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前の情報提供と、入学後の情報交換を毎年行っている。 	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0		

関係機関や保護者との連携	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	・対象のお子さんは、かやま保育園の同年齢のクラスの保育に参加する「交流保育」を行っている。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・療育の中でお子さんの様子について話し合い、共通理解できるように努めている。 ・連絡ノートを活用して当日のねらいに対してどのような姿だったのかを記入し、保護者に伝えている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
保護者への説明責任等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・日頃の話し合いやアンケートでこどもと保護者の想いを確認し、個別支援計画に反映させている	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	36	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・HPや広報誌の配布などで、地域への発信は行っているが、来年度は保育園の行事に参加する回数を増やすなど地域との関わりを検討していく。	

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		